

高陵中学校PPA方式による太陽光発電設備導入業務 質問に対する回答

No.	質問内容	回答
1	仕様書2(2)に指定する太陽光発電設備の設置場所のうち、構造に関する資料が提供されていない箇所がある。荷重計算はどのようにすべきか。	提供可能な構造に関する資料(構造計算書類や耐震診断資料等)は、提供済みの資料が全てである。 提供した資料を参考とし、提案していただきたい。
2	特別教室棟東側のコンピュータ教室棟を太陽光発電設備設置場所に含めることは可能か。	提案に含めることを認める。
3	各棟の金属屋根の材質及び屋根板厚を教示されたい。	管理教室棟:着色亜鉛鉄板折板葺0.8 普通教室棟:着色亜鉛鉄板折板葺0.8 特別教室棟:着色亜鉛鉄板折板葺1.0、 一部長尺カラー鉄板瓦棒葺0.4 コンピュータ教室棟:折板構造0.6 材質不明 昇降口棟:着色亜鉛鉄板折板葺0.8 給食棟:長尺カラー鉄板瓦棒葺0.4
4	地域脱炭素移行・再エネ推進交付金実施要領別紙1にて「IP通信を用いる製品を使用する場合は、独立行政法人情報処理推進機構(IPA)によるセキュリティ要件適合評価及びラベリング制度(JC-STAR)において、★1以上の適合ラベルを取得した製品を原則使用すること。」とあるが、★1以上の適合ラベルを取得していない製品を設置した場合、当該製品について、交付対象外となるか。	当市は脱炭素先行地域第2回選定団体であり、当該規定は適用されないため、交付金制度上は適合ラベル未取得の製品を設置した場合であっても交付対象となるが、当該規定にかかわらず、資源エネルギー庁の「電力品質確保に係る系統連系技術要件ガイドライン」が改定され、令和9年4月1日以降に系統連系する場合において、IP通信を用いる対象製品を設置する場合に「JC-STAR★1以上」の適合ラベル取得製品の使用が必須となる。